



# 中西便り

発行者： 校長 鈴木 均

中川西中 Tel 045-912-1270

## <学校教育理念>

**自主と貢献 健康と思いやり 対話と融和**

## 《学校教育目標》

～自分に適した生きる力を実現する子供を育てます。～

- より良い生き方を創るため、自ら学ぶ力を育てる（知）
- 豊かなかかわりを通して互いに認め合う心を育てる（徳）
- 自他の生命を大切にさせるとともに健やかな体を育てる（体）
- 社会の一員として貢献できる態度を育てる（公）
- 様々な人々とのコミュニケーションを通じて世界への視野を育てる（開）

## 1か月を振り返って ～緊張の中で～

校長 鈴木 均

4月が終わりましたが、本当にあつという間に感じる1か月でした。生徒のみなさんも同じ気持ちではないかと感じています。入学式に始業式、生徒会オリエンテーション、部活動オリエンテーション、身体計測、委員決めや係決め、仮入部などなど・・・毎日イベントが目白押しで、息つく暇もありませんでした。

学校にとって、ちょっとした変化がありました。それは、標準服のブレザーを変更したことです。コロナ禍の影響で値上げの話が持ち上がり、マイナーチェンジすることになりましたが、従来のブレザーをリサイクルして着用しても構いません。1年生は現在、青地のブレザーと紺地のブレザーが混在しています。学校の様子もこうして何年かかけて、少しずつ変化していつているのだと感じます。

4月は、誰にとっても変化の大きい時です。「急激な環境の変化を好まない」という人もいるかと思えます。しかし、「変化に適応・順応する力」を少しずつでも養ってほしいです。「なぜ、わざわざ環境を変える必要があるのか分からない」という人もいるかと思えます。しかし、社会は変化の連続です。また、敢えて変化を入れているときもあります。それは「変化の中からこそ、新しいものが生み出されてくる」からだと思えます。疲れたりつらかったりするときもありますが、新しく得られることもたくさんあるはずで、生徒のみなさんには、変化を楽しむことのできる人になってほしいです。

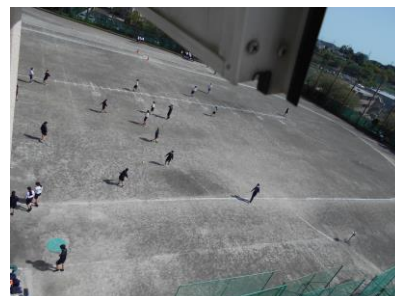
とは言っても、まだまだ未完成な中学生にとっては、毎日変化にさらされることに対する負担が大きいと思います。だからこそ「自分の状態を知り、休むときは休んで」と伝えたいです。大人でも、年度初めは緊張するものです。しかし適度な緊張感をもって生活していると、良く言えば生活に“張り”があり充実感を感じることが出来ます。ただ、そういう時は知らず知らずのうちに疲れをためこんでしまっているかもしれません。ためこみすぎると、一気に爆発して大変なことになりますから、ぜひ、ゆっくりとリラックスする時間を作るように心がけてほしいです。

ゴールデンウィークは、ゆっくり休むには良い時期です。ただ、気を抜きすぎると休み明けの学校がつかなくなりますから、生活のリズムを崩さない範囲で、リラックスした生活を過ごしてください。ここで疲れを十分にとり、5月からの生活に臨んでほしいと願っています。

5月も行事や行事準備で大忙しです。1年生のPA（プロジェクトアドベンチャー）、3年生の修学旅行、体育祭や合唱コンクールの準備・・・たくさんあります。これまでコロナ禍で自粛せざるを得なかった活動が、まだまだ制限付きではありますが、少しずつできるようになってきています。学校としては、その喜びを生徒とともに噛みしめながら、充実した学校生活を作り上げていきたいと考えています。

## 授業参観・学級懇談会

4月22日（金）に授業参観と学級懇談会を行いました。授業参観については保護者の数が分散されるようにと4月28日（木）にも実施する試みをしました。また、今回は震災時の引き取り訓練も兼ねて、保護者の方には生徒引き取り時の経路でクラスに行ってくださいました。コロナ禍で、保護者の学校に来る機会が大幅に減っていましたので「どこに教室があるのか分からない」といった保護者の方々も見受けられました。学級懇談会も、密を回避しながら実施でき、新しいクラスの担任と直接お話をする機会を作ることができて安堵しています。今後もこのような機会を少しずつ増やしていきたいです。



## 避難訓練

4月25日（月）に地震を想定しての避難訓練を実施しました。警報が発令されてから、机の下に入る、避難経路に従って避難する、グラウンドに避難する、教室に2次避難するなど、生徒一人ひとりが意識して行動していました。東日本大震災の反省から、保護者の方への引き渡し方など、地震発生後の対応がだいぶ変わってきています。過去の教訓を生かし、災害に対する準備をしておく必要性を生徒に理解してもらえよう取り組んでいきたいと考えています。



## 仮入部

4月12日（火）から4月28日（木）まで、1年生の仮入部期間でした。コロナ禍と教員の働き方改革の流れもあり、現在部活動は平日3日、休日1日の活動ということになっています。そんな中で実施した仮入部でしたが、今までと異なる雰囲気を感じています。それは、1年生がいろいろな部活動を体験してみようと積極的に行動していることです。どの部活動も毎日実施しているわけではないので「今日この部活がやっているから、こちらに行ってみよう」と考えて自主的に活動しているようです。いろいろな体験をとおり、心身ともに伸びてほしいです。



## 全国学力・学習状況調査、横浜市学力・学習状況調査

4月19日（火）に3年生の全国学力・学習状況調査（国語・数学・理科）が、4月26日（火）には1～3年生の横浜市学力・学習状況調査（国語・社会・数学・理科・英語 [2～3年生]）が実施されました。新学年が始まったばかりの中、生徒たちは集中して調査に臨んでいました。前年度までの学習の到達度を測るために行われており、後日結果が生徒に戻されます。学校としても、全体の結果を分析して、教育活動に生かしていくための資料となります。



## 進路説明会、修学旅行説明会

4月28日（木）に進路説明会、修学旅行保護者説明会（3年生）、修学旅行積立説明会（2年生）を実施しました。進路説明会では、1年間の流れや公立・私立の受験制度の違いなどの大枠を説明しました。約1年という長い時間をかけて、生徒に寄り添いながら、生徒一人ひとりが納得のいく進路を選択できるように指導していきたいと思います。修学旅行は、この2年間実施できていません。思い出に残る修学旅行を実施できなかったことは、生徒にとっても学校にとっても厳しい判断でした。今年度は5月24日（火）～26日（木）を予定しています。今年度こそ実施できることを切に願ってやみません。



令和4年度		5月行事予定表			横浜市立中川西中学校		
月/日	曜	時程	朝	昼食	清掃	部活	生徒関係・活動
5/1	日						
5/2	月	○	○	○	簡	○	1年PA学習(午前、午後4クラスずつ分けて) 専門委員会15:50
5/3	火						
5/4	水						
5/5	木						
5/6	金	○	委	○	簡	朝○ ×	⑥込学活 一斉下校15:45
5/7	土						
5/8	日						
5/9	月	○	○	○	普	○	①全校集会(実習生紹介)
5/10	火	○	○	○	簡	○	特設委員会15:50
5/11	水	○	委	×	簡	朝○ ×	総下校12:15
5/12	木	○	◎	○	普	○	3年内科検診①～④
5/13	金	○	○	○	簡	○	
5/14	土						
5/15	日						
5/16	月	○	○	○	簡	○	
5/17	火	○	○	○	簡	○	
5/18	水	○	○	○	普	○	1年耳鼻科検診
5/19	木	○	○	○	普	○	1年歯科検診
5/20	金	特	×	○	簡	○	体育祭学年練習 中央委員会15:15
5/21	土						
5/22	日						
5/23	月	○	○	○	普	○	3年事前指導
5/24	火	○	○	○	普	○	3年修学旅行
5/25	水	○	◎	○	普	○	3年修学旅行
5/26	木	○	○	○	普	○	3年修学旅行 2年内科検診①～④
5/27	金	○	○	○	普	○	3年健康観察
5/28	土						
5/29	日						
5/30	月	特	×	○	簡	朝○ ×	学年練習予備日 一斉下校15:20
5/31	火	○	○	○	普	○	1年心臓病検診

総下校 18:00 (活動終了は17:45)  
 時程→特:特別時間割、○:通常時間割  
 朝 →○:朝読書等、委:委員会報告、◎:SDGs

## 情報モラル講演会(1年生)

4月26日(火)に、情報モラル講演会を実施しました。都筑警察署生活安全課から講師をお招きし、1年生を対象に、中学生が起こしやすいSNSトラブルについて、具体的なお話をいただきました。また、情報の扱い方によっては、犯罪になる可能性があること、トラブルが発生したらどうすべきか等、警察の方ならではの視点でお話をいただいたので職員も大変参考になった内容でした。どの中学校でもSNSトラブルは多発しています。この機会に、ご家庭でもスマホなどの使い方について話し合いをしていただきたいと思います。



## 心のなんでも相談室のご案内

□学校カウンセラー来校日 毎週火曜日

5月予定10日・17日・24日・31日

□相談時間 9時～17時

事前の予約をお願いします。

□場所 本校A棟1F

教育相談室(保健室となり)

相談日のみ直通電話 045-911-9671

## 教育実習生がきます

5月9日(月)～27日(金)で教育実習生がきます。教員の卵である大学生を職員一同で大切に育てていきます。みなさんにも温かい目で見えていただけたらと思います。生徒にとっても、年齢の近い学生との交流は意味のある体験になると考えています。